

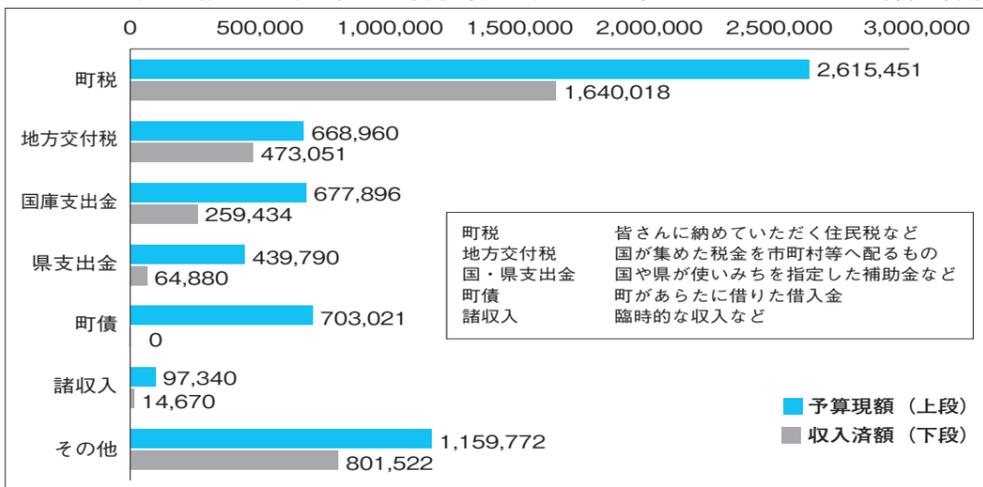
町の家計簿より

平成30年度 上半期の財政状況

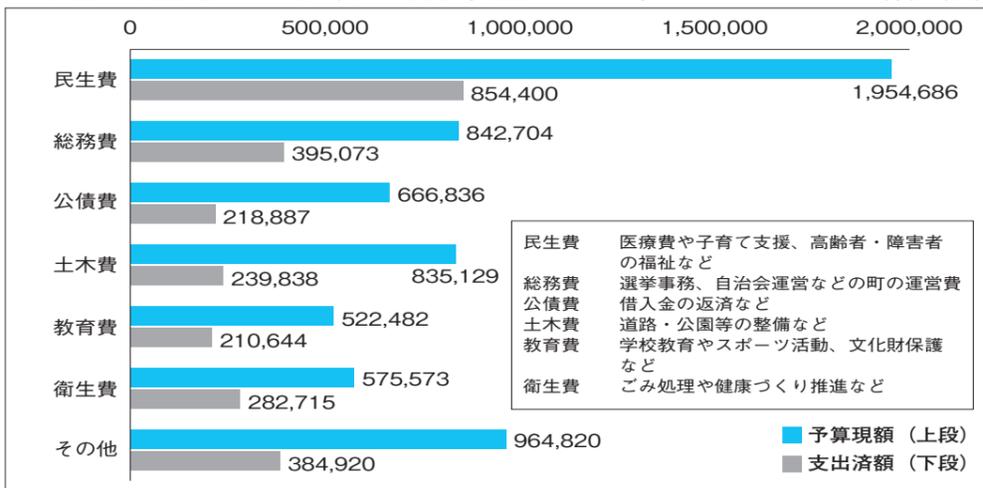
皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われているのかをお知らせするため、毎年2回、予算の執行状況等を公表しています。今回は9月30日時点の状況です。

■ 一般会計 予算額（歳入・歳出ともに） 63億6,223万円

■ 歳入 収入済額 32億5,357万円（収入率 51.1%）



■ 歳出 支出済額 25億8,648万円（支出率 40.7%）



■ 特別会計

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険特別会計	2,253,148	1,161,609	51.6%	1,091,409	48.4%
後期高齢者医療特別会計	215,306	79,942	37.1%	69,964	32.5%
介護保険特別会計	1,277,106	689,152	54.0%	512,693	40.1%
下水道事業特別会計	684,249	205,615	30.0%	238,367	34.8%

注：下水道事業特別会計の不足額は、他会計の歳入現金から一時資金を流用し収入の不足額を補いました。

■ 町債(借入金)・積立基金(貯金)

	平成29年度末 残高	平成30年度末 残高(見込)
町債	6,874,816	6,959,897
積立基金	423,553	196,869

詳細は町ホームページをご覧ください。

問合せ 総務課 財政契約担当 ☎62-2151

■ 公営企業会計

水道事業会計	
収益的収入	収益的支出
235,338	162,626
資本的収入	資本的支出
0	21,204

教育相談室

笑顔で過ごせるコミュニケーション

あけましておめでとうございませう。

先日、こんな記事を目にしました。

「イヤイヤ期真っ只中で、日々格闘しながらの生活。そんな中スーパーで店員さんから「日本の未来のために子育てをしてあげてほしい」と言われ、と声をかけられた。このような言葉をかけていただき驚いた。日々の生活では、私と息子の世界で疲労困憊の顔でいるが、日本の未来を担う子供を育てていると思うと、私も有意義な時間を過ごしているのかなと、笑顔を多めに返したい」という内容でした。

未来を担う子供たちの、未来を変える親子のコミュニケーションについて考えていきます。すべての子供の脳は、成長途中の「未完成な状態」です。子供の脳は、周りの人との関わりや環境からさまざまな情報を得

て、徐々に成長していきます。特に一番身近な存在であるお母さんとの会話は、子供の脳の成長に大きく関わることが脳科学的にもわかっています。そこで、いつもの言葉を少しだけ変えてみませんか。言葉が変わると、お母さんと子供のコミュニケーションが変わります。そして、子供たちには、「自分にもできることがたくさんあるんだ」と自信を持ってもらいたいと思います。

■ ステップ1 会話を楽しくスタートする。

「今」の状態を肯定的に捉えた声かけで始めます。(テレビ観てるんだね。)

■ ステップ2 わかりやすい指示を出す。

行動しやすい指示を出しましょう。(あと〇〇回で終わりだよ。)

■ ステップ3 子供の感情に巻き込まれない。

思考や行動を一定の距離感を保って待ったり、取り合うべき

ではない行動を静観します。手助けが必要なら距離を詰めてサポートをします。子供との距離感をコントロールしながら、子供が行動に取り掛かったり、進めたりするのを待ちましょう。(〇〇しているの。じゃあ、待ってるね。)

■ ステップ4 子供を肯定する。

最後に再び子供を肯定しましょう。成功体験の記憶が残ること、次にその行動をする時にいいイメージで向かうことができるようになります。(もう宿題終わったの？すごいね。)

この発達コミュニケーションの中には「叱る」「叱る」というステップをあえて入れていません。叱ることが常態化して

も、子供は変わらないからです。「肯定の言葉がけ」はすべての人に効果的です。身近なところで実践していくと、周りをいい方向に動かしていくことができますようにになります。

ほめるところがすぐに見つけられない場合には、次のテクニックを使うと声がかけられます。①興味を示す、②励ます、③同意する、④実況中継する、⑤感謝する、⑥喜ぶ、驚く、⑦スキップ、⑧ジェスチャーです。

とにかく、子供を肯定する話し方から始めると、それだけで子供の様子はガラリと変わります。なぜなら「お母さんは自分のよいところを認めてくれる」「ほく(わたし)だって色々まくやれるんだ」という自信が芽生え始めるからです。

新年にあたり、コミュニケーションの仕方を考えて、笑顔で過ごせる年にしていきましょう。

参考文献 朝日新聞の記事「子どもの未来を変えるお母さんの教室」吉野加容子著(青春出版社)より引用
問合せ 教育総務課 ☎62-0823